

—第66回気仙沼みなとまつり協賛事業／東京海洋大学・気仙沼市連携事業—  
東京海洋大学 練習船「<sup>しんようまる</sup>神鷹丸」の一般公開を行います

- 32年ぶりに新船となった東京海洋大学練習船「神鷹丸」の船内の一般公開を行います。
- 気仙沼市と東京海洋大学は、平成24年3月20日、人材育成や産業振興等の分野において協力することにより、東日本大震災からの復興及び相互の持続的な発展に寄与することを目的として、連携協力に係る協定を結びました。
- 今般の一般公開は、連携協力に係る協定に基づく取り組みの一環として開催するものです。
- 一般公開の概要等については、下記のとおりです。

### 【神鷹丸 一般公開の概要】

1. 日時：8月4日（金）12：30～14：30（最終乗船受付）
2. 場所：気仙沼商港岸壁（気仙沼港朝日ふ頭）
3. 内容：乗船学生による船内案内（所要時間 約30分）
4. その他：乗船には整理券が必要です（配布期間8月2日（水）まで市水産課、東京海洋大学三陸サテライトで配布しています）

### 【神鷹丸の概要】

- 同船では、学部生を対象にしたトロール、イカ釣り、マグロ延縄などの乗船漁業実習をはじめ、海技士資格取得の教育を行うなど、日本及び世界の次世代の水産・海洋を担う学生が、最新の知識及び技術を習得し、高度な技術者として養成する洋上の教育施設です。
- また、2次元地震探査装置による海底下構造探査、自立型水中ロボット（AUV）や音響機器による海底の精密調査を行うことができる洋上の研究施設として、最新鋭の調査機器等を搭載しており、日本周辺海域に存在する海洋資源や海洋生物の科学調査が可能となっています。
- 今般、公開する神鷹丸は、昭和12年の初代船から数えて四代目となります。



- ・総トン数：986 トン ・全長：64.55 メートル
- ・航海速力：13.56 ノット
- ・平成28年3月31日 竣工
- ・建造所：三菱重工業株式会社 下関造船所

**【神鷹丸のここがスゴイ！】**

- ・電気推進で騒音、振動が少ない「魚が驚かない静かさ」を実現！
- ・2つのスクリューと2つの大角度舵で高い運動性能を発揮！
- ・海底の下までも調査できる最新鋭の観測装置を搭載！
- ・船内ネット環境を充実！乗船学生は iPad で学習！
- ・イカ釣り、マグロ延縄、トロールに流し網が加わり、複合的な漁業実習を強化。日本最多の漁労装置を設置！

**■整理券配布場所（問合せ先）■**

東京海洋大学三陸サテライト 気仙沼市魚市場前7-13 海の市3階

TEL・FAX 0226-29-6719

E-Mail [sanriku@o.kaiyodai.ac.jp](mailto:sanriku@o.kaiyodai.ac.jp)

気仙沼市 水産課 気仙沼市八日町一丁目1-1 ワン・テン庁舎1階

TEL：0226-22-6600（内線：513） FAX：0226-22-8884

E-Mail [suisan@kesenuma.miyagi.jp](mailto:suisan@kesenuma.miyagi.jp)

**■国立大学法人東京海洋大学は、**

2003年（平成15年）に東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生しました。

平成29年4月からはあらたに海洋資源環境学部が設置され、日本で唯一の海洋に関する総合大学として、海洋、海事、水産の分野における世界最高水準の教育研究拠点形成を目指しています。